

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2016-205631(P2016-205631A)

【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2015-83002(P2015-83002)

【国際特許分類】

F 25 D 29/00 (2006.01)

【F I】

F 25 D 29/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月24日(2018.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機械室に配置され、冷凍サイクルを流れる冷媒を圧縮する圧縮機と、前記機械室に配置され、前記圧縮機を冷却する冷却ファンと、前記圧縮機を収納する圧縮機カバーの温度を検出する温度センサーとを備えた冷蔵庫において、

前記機械室に設けられた前記圧縮機の一方側に前記圧縮機を冷却する前記冷却ファンを配置する共に、前記圧縮機カバーの温度を検出する前記温度センサーを前記圧縮機を挟んで前記冷却ファンとは反対側の前記圧縮機カバーに配置したことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項2】

請求項1に記載の冷蔵庫において、

前記温度センサーが配置される位置は、前記機械室を上側から見て、前記冷却ファンの軸方向回転中心と前記圧縮機の中心を結んだ延長線の両側の範囲で、しかも前記圧縮機の中心を通り、前記延長線と直交する直交線を境として前記冷却ファンとは反対側の所定領域であることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項3】

請求項2に記載の冷蔵庫において、

前記温度センサーは保護カバーに収納されており、前記保護カバーが配置される位置は、前記延長線上の前記圧縮機カバーの外表面であることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の冷蔵庫において、

前記圧縮機カバーには前記圧縮機に冷媒を供給する吸入パイプが設けられており、前記吸入パイプは前記温度センサーに隣接した位置に設けられていることを特徴とする冷蔵庫。

。

【請求項5】

請求項1に記載の冷蔵庫において、

前記温度センサーは、前記圧縮機カバーに形成された平面部に少なくとも一部が接触するように配置されたことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項6】

請求項1乃至請求項5のいずれか1項に記載の冷蔵庫において、

前記温度センサーによって検出される前記圧縮機カバーの温度が、予め定められた温度

に達していると制御装置によって判断されると、前記制御装置は前記圧縮機の運転を停止するか、或いは前記圧縮機の回転数を変更することを特徴とする冷蔵庫。